

平素は大変お世話になり、誠にありがとうございます。香川労災病院の紹介をさせていただきます。当院は昭和31年4月に旧練兵場跡地を丸亀市より提供され開院し68年目となります。石垣で名高い丸亀城のすぐ東側にあり静かな城下町の住宅街の中にあります。春には桜が満開となり、絶好の花見のスポットであり、コロナによる制限も緩和され、ようやくお城祭りなどで賑やかさが戻りました。開院時は、内科、外科、整形外科の三科40床で診療が始まり、現在404床（ICU8床、HCU8床）で小児科を除く全科で日々の診療に当たらせて頂いています。内科の常勤医は、血液内科2名、呼吸器内科3名、消化器内科6名、循環器内科6名で、私たちのグループは4名で内分泌代謝内科と腎臓内科、膠原病内科、血液浄化部門を担当させて頂いています。神経内科のみ常勤医師が不在ですが、週2日非常勤医に診て頂いています。都会の大病院と違い少ないスタッフですが、その分お互い顔を合わせながら支え合い、他科との連携が密にでき、研修医の先生が受け持つ症例数が圧倒的に多いため短期間で他院の何倍もの症例を経験されています。村尾教授のご方針でもあります糖尿病・内分泌疾患のいずれもが全身、全臓器に影響を持つことから、糖尿病・内分泌内科学の専門家であるためには、内科医として幅広い知識をもつことが重要であり、毎週の内科全体での全分野の症例検討会や抄読会のもとより、内分泌代謝内科グループでも毎週循環器内科や呼吸器内科、腎臓内科医師、血液浄化部のスタッフも含めた勉強会を行い、関連疾患（特に透析療法も含めた糖尿病性腎症など）に対応できるように最新の文献抄読や症例を深く掘り下げる検討会を行っています。また当院は県下でも有数の救急受け入れ施設であり、救急車で搬送される患者数が年間3500名を超え、内分泌代謝内科関連の救急疾患である糖尿病性昏睡、低血糖、慢性腎不全、虚血性心疾患、脳血管障害、副腎クリーゼなど初期対応から退院まで経験して頂いており専門医を習得できる学会の教育認定施設でもあります。常勤4人、非常勤4人の小さなグループで、小さなお子様のいらっしゃる先生も複数人おられますが、職員用の保育園もあり、お子様の急な発熱時など皆でカバーし合い助け合って診療できています。当院で研修してよかったと実感して頂けるように日々改善に努めますので心よりお待ちしております。

